



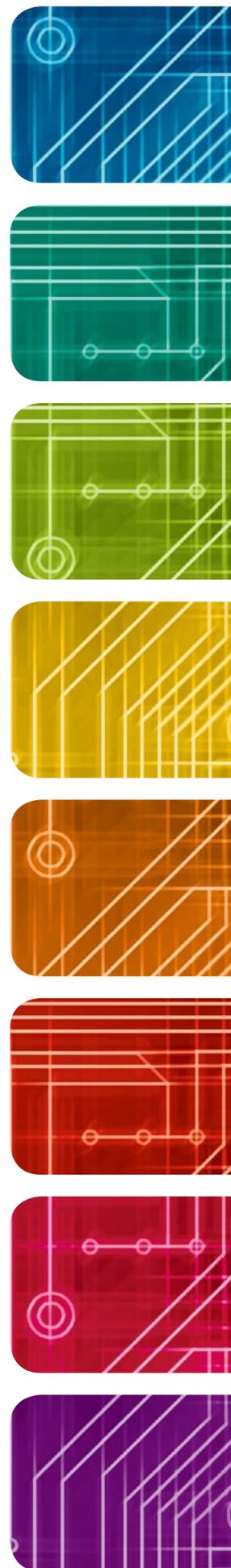
**JEITA/ECALGA標準・
EIAJ-EDI標準
出版物一覽表 Ver1.0**

2016年6月

**一般社団法人 電子情報技術産業協会 ECセンター
取引標準専門委員会**



一般社団法人 電子情報技術産業協会



まえがき

この出版物一覧表は、JEITA/ECALGA標準とEIAJ-EDI標準の本編とこれに関する主としてJEITA/ECセンターおよび、旧EIAJ-EDIセンター発行の関連資料を一覧にまとめたものである。

発行の目的は以下の2点である。

1. 当標準の利用者が標準の理解を進める為に、参考となる資料の調査を容易にする。
2. 標準書改定に当たり、関連する資料の影響調査を容易にする。

本書の利用にあたり、留意点を以下に記す。

1. 出版物の表示単位

出版物に複数のバージョンが存在するものは、その最新バージョンのみを記載している。

2. 発行元の記述

明細に記述した発行元は、旧組織による発行物については、旧組織と現時点の組織を併記している。

3. 標準書との関連

ガイドブック等については、明細記述の中で関連する編を記述しているが、一部は編の中の項まで記述しているケースもある。

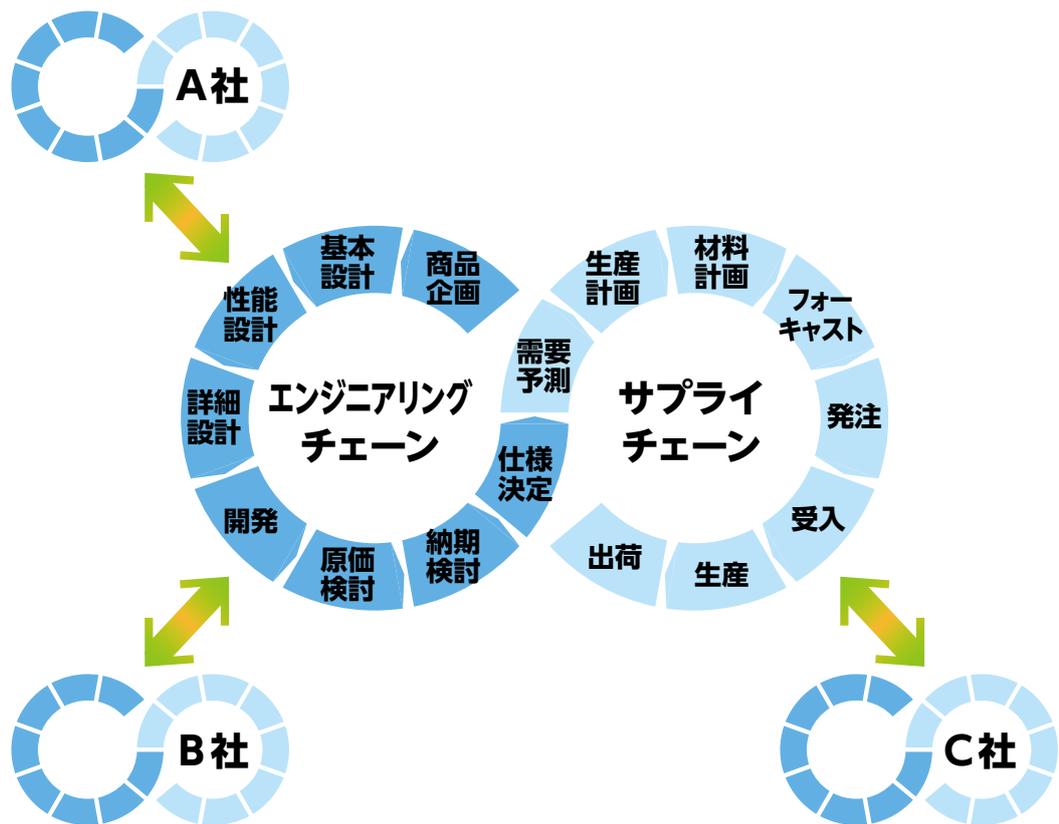
4. 本書の改定に当たっては

ドキュメントのナンバーを10単位に振っており、新規追加時には、関係する分類に下一桁をユニークにして登録する。

関連する書籍を発行する場合は、事務局を通じて取引標準専門委員会に連絡を頂き、本書を改定する。

ECALGAのコンセプト

全ての壁を越えて、全てのビジネスプロセスを
グローバル且つシームレスに繋ぎ、
ダイナミックなビジネス展開を可能にする
ビジネススタンダードである。



JEITA/ECALGA標準・EIAJ-EDI標準 出版物一覧表 Ver1.0

用途	掲載ページ	No.	文書名	言語	発行年	ECALGA	EIAJ
1 標準書本編	4	110	JEITA/ECALGA標準 2012年度版	日	2013	○	○
	5	120	EIAJ-EDI標準 2001年版	日	2001		○
2 標準書翻訳 ・英語・中国語での理解の為に	6	210	Ⅷ Overseas Trade Model Ver-01	英	2013	○	○
	7	220	Ⅷ 海外交易模式 Ver-01	中	2013	○	○
	8	230	EIAJ-EDI Standard Version of 2001	英	2001		○
	9	240	EIAJ-EDI標準 2001年度版	中	2005		○
3 入門・導入ガイド ・はじめて利用する方の為に	10	310	ECALGA標準入門解説書	日	2015	○	○
	11	320	EDI取引導入ガイド	日	2000	○	○
	12	330	ECALGA導入ガイド 共通版	日	2005	○	
	13	340	ECALGA導入ガイド 技術情報交換編	日	2014	○	○
4 業務別ガイド ・特定業務の運用理解の為に	14	410	EIAJ-EDI標準準拠 標準納品システム導入ガイド	日	1998	○	○
	15	420	納品書レス導入ガイド	日	2000	○	○
	16	430	JEITA/JTA業際運送荷札導入ガイド	日	2003	○	○
	17	440	請求支払EDI導入ガイド	日	2002	○	○
	18	450	請求支払EDIにおける違算発生防止ガイド	日	2007	○	○
5 情報システム構築・ 利用ガイド ・IT部門・IT事業者向けガイドライン	19	510	EIAJ版 Web-EDI導入の手引き 入門編	日	2000		○
	20	520	メールEDI運用標準ガイドライン Version1.2	日	2007	○	○
	21	530	Web-EDIガイドライン Version2.1	日	2014	○	○
	22	540	ebXML手順実装ガイドライン Version2.0	日	2015	○	
	23	550	ASP間運用標準ガイドライン (ebXML) Version2.0	日	2012	○	
6 辞書作成ガイド	24	610	ECALGA標準記述ガイド Ver2.1	日	2015	○	○
7 他標準書・ 関連標準資料 ・他標準・関連標準を理解する為に	25	710	CIIシンタックスルール (JIS-X7012) 解説書	日	2000	○	○
	26	720	CII Syntax Rule Version3.00	英	1998	○	○
	27	730	EDIFACT EIAJ編集版	日	1997		
	28	740	業際横断EDI仕様 V1.1 ビジネスインフラガイドブック	日	2012	○	○
9 その他 ・関連技術に関する調査・研究・解説書	29	910	電子業界の国際バーコード	日	1997	○	○
	30	920	電子・電機業界における電子タグを利活用 したトータルトレーサビリティ実証実験	日	2006	○	

出版年月 2013年3月 関連表分類 1 標準書本編 対象となる言語 日本語

発行元 取引標準専門委員会

出版の目的

EIAJ-EDI標準の後継として2003年に初版を発行し、JEITA及び関連業界のEDI標準として位置づけられる。国際標準の標準電子取引参照モデルであるOpen edi Reference Model,ISO14662,JIS X 7001およびその実装規格であるebXML (OASIS,UN/CEFACT) に準拠し標準を規定している。2007年にはEIAJ-EDI標準メッセージを取込み、これを包含したものとなっている。

記述内容

1. 記述内容

全5冊9編の構成で、JEITA/ECALGA標準（含むEIAJ-EDI標準）が記述されている。

I編：解説編

II編：技術編

III編：資料編

IV編：業務モデル編（ECM）

V編：ビジネス辞書編（ECM）

VI編：国内業務モデル編（SCM）

VII編：国内ビジネス辞書編（SCM）

VIII編：海外業務モデル編（SCM）

IX編：海外ビジネス辞書編（SCM）

- （ECM）では技術情報交換に関するEDI標準を記述している。
- （SCM）では商取引情報交換に関するEDI標準を記述している。

留意事項

- なし

No.
120**EIAJ-EDI標準 2001年度版**

出版年月 2001年12月 **関連表分類** 1 標準書本編 **対象となる言語** 日本語
発行元 旧EIAJ EDIセンター（現 取引標準専門委員会）

出版の目的

日本初のEDI標準を1987年に発行し、日本電子機械工業会（旧EIAJ）、現JEITA及び関連業界のEDI標準として位置づけられる。本標準はこのEDI標準全体を交換業務プロセスと交換する標準メッセージの規定を一冊にまとめたものである。この後継となるJEITA/ECALGA標準は、EIAJ-EDI標準メッセージを取込み、包含したもとなっている。

記述内容**1. 記述内容**

以下5編の構成で記述されている。

I 編：解説編

EDI標準の制定・管理の基本方針等

II 編：データ交換規約編

交換情報の種別と項目定義、コード類の説明

III 編：運用諸規則編

データレコード作成方法と交換ルール

IV 編：業務・運用ルール編

交換業務別の説明と運用ルール

V 編：資料編

CIIシンタックスルール他、データ記述に関するルール規約等

留意事項

- CIIシンタックスルールについての詳細は、「CIIシンタックスルール解説書2000年版」を参照する事

標準書翻訳

- 英語・中国語での理解の為に

No.

210

Ⅷ Overseas Trade Model Ver-01

出版年月 2013年3月 関連表分類 2標準書翻訳 対象となる言語 英語

発行元 取引標準専門委員会

出版の目的

JEITA/ECALGA標準2010年版をベースに英語訳し、英語圏利用者の理解と活用を目的として発行された。

記述内容

1. 記述内容

海外取引で使用される、所要計画、予約注文、確定注文、納期回答、出荷、検収、請求の情報交換と交換業務プロセスを説明している。

また、これに使用されるビジネスドキュメント（CIIタイプ、XMLタイプ）とこれを構成するコード定義、項目定義、クラス定義を規定している。

2. 関連する編

- Ⅷ 海外業務モデル編（SCM）
- Ⅸ 海外ビジネス辞書編（SCM）

留意事項

- なし

No.
220

Ⅷ 海外交易模式 Ver-01

出版年月 2013年3月 関連表分類 2 標準書翻訳 対象となる言語 中国語

発行元 取引標準専門委員会

出版の目的

JEITA/ECALGA標準2010年版をベースに中国語訳し、中国語圏利用者の理解と活用を目的として発行された。

記述内容

1. 記述内容

海外取引で使用される、所要計画、予約注文、確定注文、納期回答、出荷、検収、請求の情報交換と交換業務プロセスを説明している。

また、これに使用されるビジネスドキュメント（CIIタイプ、XMLタイプ）とこれを構成する、コード定義、項目定義、クラス定義を規定している。

2. 関連する編

- Ⅷ 海外業務モデル編（SCM）
- Ⅸ 海外ビジネス辞書編（SCM）

留意事項

- なし

標準書翻訳

●英語・中国語での理解の為に

No.
230

EIAJ-EDI Standard Version of 2001

出版年月 2001年12月 関連表分類 2標準書翻訳 対象となる言語 英語

発行元 旧EIAJ EDIセンター（現取引標準専門委員会）

出版の目的

EIAJ-EDI標準2001年版をベースに英語訳し、英語圏利用者の理解と活用を目的として発行された。

記述内容

1. 記述内容

翻訳元のEIAJ-EDI標準と同じく、以下5編の構成で記述されている。

I 編：解説編

EDI標準の制定・管理の基本方針等

II 編：データ交換規約編

交換情報の種別とコード類の説明

III 編：運用諸規則編

データレコード作成方法と交換ルール

IV 編：業務・運用ルール編

交換業務別の説明と運用ルール

V 編：資料編

CIIシンタックスルール他、データ記述に関するルール規約等

留意事項

- CIIシンタックスルールについての詳細は、「CIIシンタックスルール解説書2000年版」または、その英語版を参照する事

No.
240

EIAJ-EDI標準 2001年度版

出版年月 2005年12月 関連表分類 2標準書翻訳 対象となる言語 中国語

発行元 旧EIAJ EDIセンター（現取引標準専門委員会）

出版の目的

EIAJ-EDI標準2001年版をベースに中国語訳し、中国語圏利用者の理解と活用を目的として発行された。

記述内容

1. 記述内容

翻訳元のEIAJ-EDI標準と同じく、以下5編の構成で記述されている。

I 編：解説編

EDI標準の制定・管理の基本方針等

II 編：データ交換規約編

交換情報の種別とコード類の説明

III 編：運用諸規則編

データレコード作成方法と交換ルール

IV 編：業務・運用ルール編

交換業務別の説明と運用ルール

V 編：資料編

CIIシンタックスルール他、データ記述に関するルール規約等

留意事項

- CIIシンタックスルールについての詳細は、「CIIシンタックスルール解説書2000年版」を参照する事

出版年月 2015年6月 関連表分類 3 入門・導入ガイド 対象となる言語 日本語

発行元 取引標準専門委員会

出版の目的

約25年以上に渡り進化・発展してきたECALGA標準の全体像が理解できる資料とする事でJEITA/ECセンター内でのノウハウ継承をサポートする事を目的とし、作成されている。

記述内容

1. 記述内容

- 標準化の経緯・概要
- JEITA/ECセンターの活動の軌跡
- ECALGA標準と他の標準と比較
- EIAJ-EDIからの継承内容
- ECALGA標準の今後の方向性
- ECALGAを実装する際の判断プロセス/実装パターン
- EIAJ-EDI標準とECALGA標準の改定履歴の一覧
- EDIに関連する用語集

2. 関連する編

全ての編

留意事項

- なし

No. **320** **EDI取引導入ガイド**

出版年月 2000年4月 関連表分類 3入門・導入ガイド 対象となる言語 日本語
 発行元 旧EIAJ EDIセンター 標準メッセージWG (現 取引標準専門委員会)

出版の目的

EDI導入の道標となるガイドとして、「資材取引の発注者・受注者」双方の立場に立って、なるべく分かり易いEDI取引導入手順を示した。

記述内容

1. 記述内容

- 主に資材購買（発注）の立場の方のために …… 発注者編
- 主に営業（受注）の立場の方のために …………… 受注者編
- 資材購買、営業双方に共通な項目を纏めた …… 共通編
- 利用するVAN会社を選択するために…………… VAN選択ガイド
- VAN会社のVAN間接続のために …………… VAN間接続において必要な取り決め事項
- その他書式等 …………… 付録

2. 関連する編

- II 技術編
- III 資料編

留意事項

- 当時全盛だったVAN接続をベースとしており、現状のインターネットをベースとした環境の場合「VAN事業者」を「ASP事業者」と読替える必要あり。

出版年月 2005年7月 関連表分類 3入門・導入ガイド 対象となる言語 日本語

発行元 システム編 情報技術委員会、業務編 取引標準専門委員会

出版の目的

システム編と業務編で構成され、ECALGA導入に際してのシステム面と業務面の共通部分の解説書として発行。

記述内容

1. 記述内容

運用の基盤を整備するためのシステム導入をガイドする「システム編」と、業務面での共通的な変更点と準備しなければならない事項をまとめた「業務編」から構成されている。

2. 関連する編

- I 業務編
- II 技術編

留意事項

- 本書内に記述されている、コラボレイティブEDIは、ECALGA標準2012年度版から廃止されている。

No.
340

ECALGA導入ガイド 技術情報交換編

出版年月 2014年10月 関連表分類 3入門・導入ガイド 対象となる言語 日本語

発行元 ECM委員会

出版の目的

実務担当者向けのガイドであり、発注者の設計開発部門や資材調達部門、受注者の設計開発部門や営業部門の実務者向けに、技術情報交換概要を理解し、自社にシステム環境を構築して実務に利用するための手引書。

記述内容

1. 記述内容

- 1) 技術情報交換モデルの概要
プロセス対象範囲、対象情報種類、背景と効果
- 2) 情報交換の具体例
データ構成、推奨ファイル名称、複数ファイルアーカイブ、電子署名/PDF
- 3) 各種支援ツール説明
XMLメッセージ作成支援ツール、XML/CII変換ツール、ECALSデータ作成支援ツール、JEITA_AIS作成支援ツール
- 4) 各種資料
納入仕様書交換プロセス例、技術情報交換を開始する場合のスケジュールチャート例
スケジュールフロー例、TPA例、用語集

2. 関連する編

- IV 業務モデル編 (ECM)
- V ビジネス辞書編 (ECM)

留意事項

- なし

4

業務別ガイド

● 特定業務の運用理解の為に

No.

410

EIAJ-EDI標準準拠 標準納品システム導入ガイド

出版年月 1998年4月 関連表分類 4業務別ガイド 対象となる言語 日本語

発行元 SCM委員会

出版の目的

発注者・受注者それぞれの立場で「標準納品システム」を導入するための道標となるべき導入手順を記述したガイド。

※「標準納品システム」とは、EDIを基本とした、バーコード付きの「標準納品書」、「標準納品荷札」(Dラベル)を使用したシステム。

記述内容

1. 記述内容

1) 発注者編

システム構築の際の手順、考慮事項、ポイント、導入事例

2) 受注者編

システム構築の際の手順、考慮事項、ポイント、導入事例

3) 帳票に関わる推奨ガイド

帳票の印字推奨例

2. 関連する編

- VI 業務モデル編 (SCM)「標準納品システム」
- VII ビジネス辞書編 (SCM)「帳票・ラベル」
「JEITAシンボル標準」

留意事項

- 当ガイド発行後に、2次元シンボルと多品納品書を追加。

No.
420

納品書レス導入ガイド

出版年月 2000年11月 関連表分類 4業務別ガイド 対象となる言語 日本語

発行元 旧EIAJ EDIセンター 納品書レス化WG (現SCM委員会)

出版の目的

EDI普及により、帳票主体の業務から、データ主体の業務へ変革していく必要がある中で、帳票類の受け渡しレスや電子保存への取組を通じて、業務効率化とスピードアップや出荷・受入コスト削減に対応した仕組みを提案している。

記述内容

1. 記述内容

- 1) 背景・目的
- 2) 適用原則（前提条件）
EIAJ標準納品システム前提、返品処理は除外
- 3) 納品書レスの考え方
ネットワーク管理型と社内物流帳票併用型の業務比較とメリット・デメリット
ビジネスモデルの記述
- 4) 導入にあたっての注意事項
 - ・法規関連（前提条件、納品書レス化と電子保存、電子帳簿保存法への対応）
 - ・発注者・受注者で取決めが必要とされる事項（Dラベル、出荷情報、受領書）
 - ・発注者における推進方法、受注者における推進方法

2. 関連する編

- VI 業務モデル編 (SCM) 「標準納品システム」
- VII ビジネス辞書編(SCM) 「帳票・ラベル」
「JEITAシンボル標準」

留意事項

- なし

4 業務別ガイド

● 特定業務の運用理解の為に

No.

430

JEITA/JTA業際輸送荷札導入ガイド

出版年月 2003年1月 関連表分類 4業務別ガイド 対象となる言語 日本語

発行元 旧EIAJ EDIセンター 出荷・受入業務WG（現SCM委員会）

出版の目的

日本国内で輸送される電機、電子部品および半導体において、荷主企業および運送事業者が共用できる業際輸送荷札の実用化の手順書としてまとめた。

記述内容

1. 記述内容

JEITAとJTA（全日本トラック協会）が電機・電子部品および半導体の出荷・輸送・荷受業務において輸送単位（荷物）に取り付けて共通に使用する業際輸送荷札の作成、使用、運用等に必要な要件を定めたものである。

- 1) 業際輸送荷札設計ガイドライン
- 2) 業際輸送荷札実証実験結果
- 3) 業際輸送荷札実証実験報告書

2. 関連する編

- VII 国内ビジネス辞書編（SCM）「帳票・ラベル」
「JEITAシンボル標準」

留意事項

- なし

No.
440

請求支払EDI導入ガイド

出版年月 2002年1月 関連表分類 4 業務別ガイド 対象となる言語 日本語

発行元 旧 EIAJ EDI センター 請求支払業務 WG (現 SCM 委員会)

出版の目的

- ・「EIAJ-EDI標準2001年版の業務運用ルール編4. 請求支払EDI」の月次照合方式を前提とした運用ルールを補完する目的で発行。
- ・当ガイドはより速く違算の処理を行うために、売掛金の消込作業を翌月ではなく当月に行う、つまり日々照合を前提として記載。

記述内容

1. 記述内容

- 日々照合導入の目的
- 用語の定義
- 日々照合の運用ルール
- 日々照合完結型（推奨パターン）
- 日々照合月次照合併用型

2. 関連する編

- IV 業務モデル編 (SCM)「請求支払」
- V ビジネス辞書編 (SCM)

留意事項

- なし

4 業務別ガイド

● 特定業務の運用理解の為に

No.

450

請求支払EDIにおける違算発生防止ガイド

出版年月 2007年11月 関連表分類 4業務別ガイド 対象となる言語 日本語

発行元 SCM委員会

出版の目的

EDI取引において「発注者」および「受注者」双方が違算発生の過程を明らかにし、違算発生を防止するための手引書として実務担当者が利用することを目的として作成。

記述内容

1. 記述内容

- 1) 取引プロセス
購買・受注業務フローについて
- 2) 違算発生プロセスの概要
違算とは
違算発生プロセス
- 3) 違算発生防止の概要
取引開始前の防止対策
取引開始後の違算発生事例とその対応
違算発生防止へ向けた取組み
売掛金の違算および滞留管理事例について

2. 関連する編

- IV 業務モデル編 (SCM)「請求支払」
- V ビジネス辞書編 (SCM)

留意事項

- なし

No.
510

EIAJ版 Web-EDI導入の手引き 入門編

出版年月 2000年4月 **関連表分類** 5 情報システム 構築・利用ガイド
対象となる言語 日本語 **発行元** 旧EIAJ EDIセンター 技術WG (現情報技術委員会)

出版の目的

Web-EDIの設計・利用選択にあたり、データ連携型との利用者側の使い分けの判断基準と、開発者側の方針を提示するための導入ガイドをまとめた。

記述内容

1. 記述内容

- 1) Web-EDIの導入に関する判断基準
Web-EDI概要、ファイル転送とWeb-EDIの使い分け、受注者・発注者双方から見た使い分けの指針
- 2) ネットワーク形態、セキュリティ対策
ネットワークのパターン分け、ASPの利用
改竄・なりすまし・不正アクセス等におけるセキュリティ対策
- 3) 運用・契約
契約書類、責任分界点、メッセージの運用方法
- 4) 標準化事項および標準機能
対象メッセージ・項目の概要、メッセージ順序、標準納品システム対応

留意事項

- なし

出版年月 2007年11月 関連表分類 5情報システム 構築・利用ガイド

対象となる言語 日本語 発行元 情報技術委員会

出版の目的

メールEDIは、発注者・受注者双方にとって簡易に始められるメリットがあるが、個別方式が多いため運用の煩雑性がある。

そのため、電子メールを使用して情報交換をするための運用ガイドラインを定めた。

記述内容

1. 記述内容

- 1) 標準化の概要、範囲
送信先、宛先、タイトル、本文
- 2) 添付ファイル形式
CII形式、XML形式、CSV形式
技術情報交換の場合PDF形式
- 3) 添付ファイル内容の標準化（それぞれのサンプル形式）
- 4) 運用ルールの標準化（TPA記述有）
- 5) システム環境、使用上の留意点
機密性、完全性、可用性
- 6) 添付資料（S/MIME、メールソフト設定、ZIP暗号化）

留意事項

- なし

No.
530

EIAJ版 Web-EDIガイドライン Version2.1

出版年月 2014年7月 **関連表分類** 5 情報システム 構築・利用ガイド

対象となる言語 日本語 **発行元** 情報技術委員会

出版の目的

発注者個別のWeb-EDIの乱立による受注者側の処理の複雑さを軽減にすることや、受注者側の基幹システムへ簡易に連携を図ることを目的とし、Web-EDIガイドラインを制定してECALGA準拠の認定基準を定めた。

記述内容

1. 記述内容

- 1) Web-EDIの問題点と解決策、ファイルアップロード・ダウンロード機能、ユーザへの通知方法
- 2) ファイルフォーマット（CII形式、XML形式、CSV、TSV形式）
それぞれのフォーマットによる使用文字コード
- 3) JEITA/ECALGA標準に即した運用方法
企業コード、納品キー番号、帳票等を記述
- 4) 利用者が参加しやすいWeb-EDIの前提条件
ネットワーク、ブラウザ、処理の自動化、セキュリティ、個別契約の取扱い
データ保管期間、海外対応、メッセージ項目、時差、ヘルプデスク等を記述
- 5) 添付資料
CSVメッセージ事例、XMLメッセージ事例
対象メッセージ・項目の概要、メッセージ順序、標準納品システム対応
- 6) 認定基準-CHECKシート

留意事項

- なし

出版年月 2015年3月 関連表分類 5情報システム 構築・利用ガイド

対象となる言語 日本語 発行元 情報技術委員会

出版の目的

JEITA/ECALGA標準のebXML手順を実装するためのガイドライン。改版時に、中小企業への展開やASP活用に伴い、ebXML実装仕様にクライアント・サーバの規定を追加。

記述内容

1. 記述内容

- 主にB2Bサーバ、ASPサービス提供する製品・サービス提供事業者向けのガイドライン
- そのため、本書を理解するためには、XML、インターネットの知識、UN/CEFACTとOASIS制定のebXML関連知識を有することが前提条件となる。
- 実証実験を繰り返し行い、ebXML標準の実装上の解釈のずれをベンダ間で協議し、実現性のある仕様を取り決め、マルチベンダ間でECALGAのビジネスプロセスをebXML実装仕様上で実現可能とするための実装ガイド
- 具体的な主な記載内容
 - 1) ebXML MS仕様で規定された電子封筒形式(トランスポートエンベロープ)の概要と規定
 - 2) ケーススタディ毎の通信シーケンスの記述
 - 3) TPA概説、CPA雛形と設定方法
 - 4) BPSS基本構成要素(BM, CBC, BC, BT, BA, BD)
 - 5) テスト手順

2. 関連する編

- II 技術編
- ASP間運用標準ガイドライン

留意事項

- 関連仕様 ebXML MS V3.0, ebXML CPPA V2.0, ebXML BPSS V2.0
- 関連規格 XML V1.0 Second Edition, XML Schema V1.0 (2001/5 W3C標準)

No.
550

ASP間運用標準ガイドライン (ebXML) Version2.0

出版年月 2012年2月 関連表分類 5 情報システム 構築・利用ガイド

対象となる言語 日本語 発行元 情報技術委員会

出版の目的

「JEITA/ECALGA（標準書Ⅱ技術編）」と「JEITA/ECALGA ebXML手順実装ガイドライン」の補足ガイドの位置づけであり、ASP間接続における実装上及び運用上の課題を解決するためのガイドライン。

記述内容

1. 記述内容

ASP間の運用規定について、「システムルール」と「運用ルール」の2種類について記載

- システムルールの運用規定は以下の通り
 - 通信手順（ebXML手順） ※ebMS 3.0の採用が前提
 - 振分機能
 - 転送機能
 - 送達確認（レイヤとレベルの利用規定）
 - CPAおよびBPSS管理
- 運用ルール・運用規定は以下の通り
 - 責任分界点（データ保証の責任範囲、送達確認の通知範囲）
 - 障害対応（エラー通知方法）
 - テスト方法（通信テスト、業務テスト、障害テスト）

2. 関連する編

- Ⅱ 技術編
- ebXML手順実装ガイドライン

留意事項

- なし

出版年月 2015年6月 関連表分類 6辞書作成ガイド 対象となる言語 日本語

発行元 取引標準専門委員会

出版の目的

JEITA/ECALGA標準の改定を行う際に、関連する組織が連携する為の手順と、改定内容の記述方法を説明したガイドライン資料。

記述内容

1. 記述内容

- JEITA/ECALGA標準メンテナンス体制
- 改定基本スケジュール
- 標準文書の章立てと表記形式
- 共通ドキュメントと利用方法
- 共通用語と発番体系
- バージョン・リビジョン管理の方法
- ビジネスモデル定義書の記述方法
- CBC定義書の記述方法
- BC定義書の記述方法
- ビジネス辞書

2. 関連する編

全ての編

留意事項

- SCM編とECM編では記述形式が異なる部分があり、本書利用に当たっては、あらかじめ、どちらの記述を行うかを意識する必要がある。

No.
710

CIIシンタックスルール (JIS-X7012) 解説書

出版年月 2000年8月 関連表分類 7他標準書・関連標準資料
対象となる言語 日本語 発行元 日本情報経済社会推進協会 (JIPDEC)

出版の目的

JIPDECでは、EIAJシンタックスルールを拡張して、国内産業界横断でのEDI標準化を進めCIIシンタックスルール3.00をJIS化 (JIS-X7012) し、規格化している。
本書はこれに対して、規格以外の「注意点」「参考情報」の必要性から解説書としてまとめたもの。

記述内容

1. 記述内容

- CIIシンタックスルールの概要
- CIIシンタックスルールの規格詳細
- 構成要素の定義
- データエレメントの種類と属性・長さの表記方法
- TFD (Transfer Form Data) の詳細
- CIIシンタックスルールの各構造
- 安全保護機能
- CIIシンタックスルール3.00で廃止された仕様

2. 関連する編

- II 技術編

留意事項

- なし

他標準書・関連標準資料

- 他標準・関連標準を理解する為に

No.

720

CII Syntax Rule Version3.00

出版年月 1998年3月 **関連表分類** 7他標準書・関連標準資料

対象となる言語 英語 **発行元** 日本情報経済社会推進協会（JIPDEC）

出版の目的

EIAJシンタックスルールを拡張してEDI標準化を進めたのがCIIシンタックスルールであり、この出版物はそのバージョン3.00についての解説書である。後に翻訳された日本語版にはバージョン2.10との差異についての記述がある。

記述内容

1. 記述内容

- CIIシンタックスルールの概要
- CIIシンタックスルールの規格詳細
- 構成要素の定義
- データエレメントの種類と属性・長さの表記方法
- TFD（TransferFormData）の詳細
- CIIシンタックスルールの各構造
- 表、図、等の参考資料のまとめ

2. 関連する編

- II 技術編

留意事項

- なし

No.
730

EDIFACT EIAJ編集版 ※メッセージ毎に8冊有

出版年月 1996~1998年2月 関連表分類 7他標準書・関連標準資料

対象となる言語 日本語 発行元 EIAJ EDIセンター（現取引標準専門委員会）

出版の目的

国際EDI標準化活動の一環として日欧米電子業界（日：EIAJ 欧：EDIFICE 米：EDIX）が共同して1991年から電子業界用のEDIFACT標準として開発し承認されたもので92.1ディレクトリーを基準にしている。

記述内容

1. 記述内容

標準業務構成（ビジネスモデル）を発注業務【①発注ORDERS ②請回答ORDRSP ③注文変更 ORDCHG】と納入（指示）業務【①所要量計画・納入指示 DELFOR ②ジャストインタイム指示DELJIT ③納入（出荷）通知 DESADV】に細分化し、それぞれのメッセージにつき詳細を記述している。

- ORDERS 注文メッセージ Purchase Order
- ORDRSP注文請回答メッセージOrder Response
- ORDCHG 注文変更メッセージ Purchase Order Change
- DELFOR 所要量計画メッセージ Delivery Schedule
- DELJIT JIT納入指示メッセージ Delivery Just in Time
- DESADV 出荷通知メッセージ Despatch Advice
- PRICAST 価格/販売カタログメッセージ Price/Sales Catalogue
- INVOIC 支払請求メッセージ Invoice

留意事項

- なし

他標準書・関連標準資料

●他標準・関連標準を理解する為に

No.

740

業界横断EDI仕様V1.1ビジネスインフラガイドブック

出版年月 2012年3月 **関連表分類** 7他標準書・関連標準資料

対象となる言語 日本語 **発行元** 次世代EDI推進協議会

出版の目的

ビジネスインフラ（企業や業界を越えて自由自在に情報の交換や共有が行える基盤）に成りえる「望ましい業界標準EDI」の実現を目指し、「国際性」「業際性」「健全性」を実現するツールとして策定した。

記述内容

1. 記述内容

実証プロジェクトの成果を踏まえ、3つの業種（電機電子・自動車・化学）およびそれらの業種と関連する中小企業取引の確定注文を対象として企業間業務プロセスと情報項目を定義した。

- 1) 業界横断EDI仕様V1.1解説書
- 2) 業界横断EDI仕様V1.1業務連携定義
- 3) 業界横断EDI仕様V1.1情報項目定義表
- 4) 業界横断EDI仕様V1.1ソリューションガイドライン

2. 関連する編

- VI 業務モデル編（SCM）
- VII ビジネス辞書編（SCM）

留意事項

- 本活動は次世代EDI推進協議会が主導しJEITAからはSCM委員会が参加して作成した。事務局は日本情報経済社会推進協会（JIPDEC）が担当した。

No.
910

電子業界の国際バーコード

出版年月 1997年8月 関連表分類 9その他 対象となる言語 日本語

発行元 旧EIAJ EDIセンター バーコードWG (現SCM委員会)

出版の目的

主に欧米の標準（または案）をベースにまとめられたドラフト「1996年6月22日時点の草稿（英文）」を欧米バーコード標準化動向を知るための参考として翻訳した。

記述内容

1. 記述内容

- 目的
- 本書の構成
- 範囲
- 製品マーキング
- 製品包装マーキング
- 出荷ラベルマーキング
- 技術解説
 - …物理的な材料要件と試験手順
 - …シンタックスルール

2. 関連する編

- V ビジネス辞書編 (SCM)
 - …11. JEITAシンボル標準

留意事項

- 欧米バーコード標準化動向を知るための参考に資するための邦訳であり、それ以外の用途は想定していない。

その他

● 関連技術に関する調査・研究・解説書

No.

920

電子・電機業界における電子タグを利活用したトータルトレーサビリティ実証実験

出版年月 2006年3月 関連表分類 9その他 対象となる言語 日本語

発行元 JEITA（電子情報技術産業協会）

出版の目的

電子タグを電子・電機機器に係る事業者の実フィールドにおいて利用する実証実験を通じて、製品ライフサイクル全体にわたるトータルトレーサビリティ実現に向けたビジネスモデルの構築等を行うものである。

記述内容

1. 記述内容

- 1) 事業の概要
- 2) トータルトレーサビリティに対するニーズ抽出
- 3) ビジネスモデルの策定
- 4) 実証実験全体概要
- 5) 個別仕様生産における製造ビジネスモデル実証実験
- 6) 大量生産における製造ビジネスモデル実証実験
- 7) 予防保全保守における保守ビジネスモデル実証実験
- 8) 障害復旧保守における保守ビジネスモデル実証実験
- 9) リサイクルビジネスモデル実証実験
- 10) まとめ

留意事項

- 経済産業省よりJEITAが受託したプロジェクトで発行したもの。この内容に関連した委員会としては情報技術委員会、SCM委員会となる。

あしがき

EDIは空気みたいなもの？

EDIは今あるものを選んで使えばよい？

いいえ違います。

時代にあった標準に改善しつつ、受発注者が合意し、WIN-WINの関係で進めなければ、メリットを享受できません。

EDIはシステム関係者や標準の専門家に任せればよい？

いいえ違います。

一番大切なことは、日々の業務を担当する皆さんが、社内の業務改善と同様に、会社間の業務改善や効率化に興味を持つことです。

ECセンターは皆さんの業務改善の基盤として
継続してEDI標準の維持と発展を進めて行きます。

維持…普及した標準が崩れないこと、更なる普及を図ること

発展…ビジネス環境、情報技術の変化に対応し進化すること

各社の実務担当の皆様からのご提案と、活動参画を期待しております。

改訂履歴

日付	状態	Ver/Rev	主な改訂内容
2016年6月15日	制定	001-01	

JEITA/ECALGA標準・EIAJ-EDI標準出版物一覧表編集メンバー

主査	麻地 徳 男	アルプスシステムインテグレーション(株)
委員	久我 望	アルプス電気(株)
	黒相 英 隆	(株)東芝
	小林 真理子	東芝インフォメーションシステムズ(株)
	山本 秀 行	パナソニック(株)
	青戸 智	(株)日立製作所
	伊藤 直 行	(株)日立製作所
	滝沢 修	富士通(株)
	小山 智 之	富士電機情報サービス(株)
	曾根 伸 一	(株)村田製作所
	牧野 恵 子	(株)村田製作所
	三枝 晋	TDK(株)
	岩崎 優 平	TDK(株)
委員会OB	久我 龍 次	

